

よこすか地域支え合い協議会(第1層)の 見直しについて

横須賀市の「地域支え合い協議会」

よこすか地域支え合い協議会(第1層)

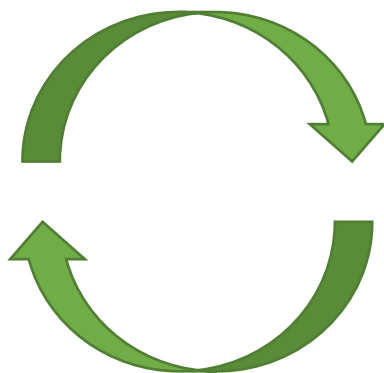
- 平成27年から継続的に開催
- 市全域を対象
- メンバーは地域福祉や地域活動に関係する組織の代表

各地域支え合い協議会(第2層)

- 各地域(おおむね行政センター単位)を対象
- 設置されている地域は8か所(追浜、田浦、大津、浦賀、久里浜、北下浦、武山、大楠)
- メンバーは地域それぞれ自由

よこすか
地域支え合い協議会
(第1層)

情報共有
活動のサポート



情報共有
取り組みの共有



よこすか地域支え合い協議会の目指すもの

◆構成員同士や各地域支え合い協議会(第2層)

との情報共有

◆引き続き情報共有を通じた

顔の見える関係・連携体制づくり

◆各地域支え合い協議会(第2層)が行う

取り組みや活動のサポート



これまでの地域支え合い協議会の 運営面での課題

各地域支え合い協議会の動きもさまざま・・・

今、地域で「ボッチャ」が流行中。
「ボッチャ」を活用した地域間交流を
やってみたい！

認知症の方が増えてきている。
認知症の方が参加できる行事が
地域にあったらいいな！

子どもと高齢者の多世代交流の
場をつくっていききたい！

防災についての研究を行っている
大学院生さんが地域の話題に。
大学院生さんの研究をテーマに
各地区の防災について語ろう！

誰でもできるスモールアクション
から、地域の福祉の力を高めていき
たい！

「支え合う地域づくり」について
まずは住民の皆さんの声を聞く
ところからはじめよう！



協議会でみえた皆様の抱える課題も・・・

- ◆地域活動の担い手となる活動者のみなさまの、
高齢化、定年延長による担い手(後継者)不足
行政や住民から求められる役割も増えている
- ◆介護の現場では、人材不足、職員の高齢化
事務やシャドーワークによる負担大
報酬改定や法改正への対応など

⇒支え手となる皆様も課題を抱えている・・・

協議会のあり方についての課題

◆ 情報共有・連携体制の構築を目指していたが・・・

⇒情報共有にとどまり、**第1層協議会としての成果がみえづらい。**

◆各地域支え合い協議会の取り組みのサポートをしていきたいが・・・

⇒各地域の活動内容がその地域やメンバーのおかれる状況に応じて様々な動きがある中で、**第1層協議会として共通のサポートすることが難しい。**

令和6年8月

地域支援事業実施要綱(国)の改正

2 生活支援体制整備事業（法第115条の45第2項第5号）

（3）実施内容

ウ 協議体

（ア）目的

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）が行うコーディネート業務を支援し、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進することを目的とする。

（イ）役割

- a **生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の組織的な補完**
- b 地域ニーズ、既存の地域資源の把握、情報の可視化の推進（実態調査の実施や地域資源マップの作成等）
- c **企画、立案、方針策定を行う場**（生活支援・介護予防サービスの担い手養成に係る企画等を含む。）
- d 地域づくりにおける意識の統一を図る場
- e 情報交換の場、働きかけの場等

（エ）構成員

協議体の構成員については、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）のほか、市町村、地域包括支援センター等の行政機関、元気な高齢者をはじめとする多世代の地域住民が担い手として参加する住民主体の活動団体、地域運営組織、NPO法人、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、協同組合、民間企業、シルバー人材センター、介護サービス施設・事業所、老人クラブ、家政婦（夫）紹介所、商工会、民生委員等の地域の多様な主体の関係者で構成されることが想定される。

また、介護保険制度以外の制度における事業（**子育て支援等の福祉施策のほか地域振興・活性化等を目的とする事業等を含む。**）、民間市場における保険外サービス、地域の支え合い活動等の多様な活動との連携を進めることは、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）のコーディネート業務を補完し、活動の推進や具体化を進める観点から重要であり、配食事業者、移動販売事業者、移動支援団体等、地域の高齢者の生活支援・介護予防に資する活動実績を有する又は参入を予定している民間企業等も参画することが望ましい。

なお、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の活動状況に応じ、協議体で取り扱うべき内容や関係者は異なることから、協議体の構成員は固定的である必要はなく、適宜適切な者の参画を促すこと。

つまり…

国の協議体の考え方が改められました！

-  第1層生活支援コーディネーターの活動状況に合わせて、協議体で話し合う内容を決める。
-  協議体で話し合う内容によって、関係者は異なるので、テーマにあった参画を促すものとする。

これからの よこすか地域支え合い協議会

構成員や地域の皆様からの声…

◆支え合いに関する課題は、「～すれば解決」という有効な方策がないからこそ難しい。

⇒地域の中の1つ1つの活動や声に焦点をあて、

そこから何が必要なのか、何ができるかを探る。

◆関係機関との横の連携というが、まずは庁内での連携をすべきではないか？

⇒**コーディネーターの役割は、庁内でも同じです。**

地域力推進係を中心にしたイメージ

第2層地域支え合い協議会
第2層SC



= 起点は各地域

福祉総務課
地域力推進係

第2層SC総括 2名

第1.5層事務局 2名

第1層SC 1名

令和7年度～

☆第2層SC総括の増員
1名 → 2名

☆第1.5層事務局を設置
→ 各地域や組織間をつなぐ
体制の強化

市全域

学校

中間支援組織

NPO法人

介護機関

社会福祉法人

民間企業

医療機関

市役所関係各課

よこすか地域支え合い協議会のあり方(案)

	～R6年度	R7年度～
構 成 員	固 定	 <u>案件によって決定</u>
開 催 回 数	固 定	 <u>案件によって必要な回数</u>
開催テーマ	各地域支え合い協議会、 構成員同士の情報共有	 <u>第1層SCによる 様々な関係機関と 協議・連携したいこと</u>

令和7年度やってみたいこと①

2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

01 重層的な支援体制の拡充

拡充

52,567 千円

民生局福祉子ども部
地域福祉課

※ 既存事業の再編を含む

地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応するため、対象者の世代や属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行います。

(新)重層事業連絡員による連携強化

市職員を重層事業連絡員に指定し、市役所内外の連携体制を強化

(新)市内の相談支援機関や地域の活動団体を検索できるシステムの導入

横須賀市LINE公式アカウントを活用した相談受付

AIを活用した相談機能の充実

1つ1つの活動をPRできる場に！「みえる化」の推進！！

令和7年度やってみたいこと①

幸せの定義と自分らしさ



選択肢がないことは不幸なこと



選択肢から選ぶ＝幸せ＝自分らしさ



より多くの選択肢を支援者が提供できるかどうか

みえる化の
目的がこちら



地域包括ケアシステムにおける「生活支援体制整備事業の役割」

令和7年度やってみたいこと②

◆多世代交流の場づくり

◆新たな地域デビューのきっかけづくり

(例:健康麻雀、ボッチャなど高齢者の関心のあるところから)

◆介護事業所と地域活動者とのマッチング

(例:介護施設とシルバー人材センターとのマッチング)

◆地域活動のPRする場づくり

構成員のみなさんへのお願い

みなさんは、横須賀市の地域活動の基盤となる
「土」の役割をもっています。

豊かな「土」にしていくには、SCが中心となって、
「土」を混ぜ合わせ耕すことが必要不可欠です。

地域の中に新しい芽をつくったり、木に育てる
お手伝いをしていきたいと思います。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします

